

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-005-2 改1
提出年月日	2020年7月10日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料
原子炉冷却系統施設のうち
原子炉冷却材の循環設備

2020年7月

東京電力ホールディングス株式会社

4 原子炉冷却材の循環設備

4.1 主蒸気系

(3) 容器

- a. 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ
- b. 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ

(6) 安全弁及び逃がし弁

(7) 主要弁

(8) 主配管

4.2 復水給水系

(6) 安全弁及び逃がし弁

(7) 主要弁

(8) 主配管

4.3 給水加熱器ドレンベント系

(3) 容器

- a. 低圧ドレンタンク

(8) 主配管

4.4 復水浄化系

(4) ろ過装置

- a. 復水脱塩装置陽イオン樹脂再生塔
- b. 復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔

(8) 主配管

4.5 抽気系

(6) 安全弁及び逃がし弁

(8) 主配管

4 原子炉冷却材の循環設備に係る次の次項

4.1 主蒸気系

(3) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ

			変 更 前	変 更 後
名 称			主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ ^{*1}	主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ ^{*2}
種 類	—	横置円筒形	変更なし	
容 量	L/個	□ ^{*3} (15 ^{*4})		
最 高 使 用 圧 力	MPa	1.77 ^{*5}	変更なし 2.00 ^{*6}	
最 高 使 用 温 度	℃	171	変更なし	
主 要 寸 法	胴 外 径	mm		216.3 ^{*4}
	胴 板 厚 さ	mm		□ ^{*7} (8.2 ^{*4})
	平 板 厚 さ	mm		□ ^{*7} (20.0 ^{*4})
	管台外径(流体出入口)	mm		80.0 ^{*4, *7}
	管台厚さ(流体出入口)	mm		□ ^{*7} (9.5 ^{*4})
	全 長	mm		520 ^{*4}
材 料	胴 板	—	SUS304TP	
	平 板	—	SUS304	
個 数	—	18		

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4)主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ」と記載。

*2 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備)と兼用。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : SI 単位に換算したものである。

*6 : 重大事故等時における使用時の値。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-2「主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータの強度計算書」による。

b. 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ

			変 更 前	変 更 後
名 称			主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 アキュムレータ ^{*1}	主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 アキュムレータ ^{*2}
種 類	—		横置円筒形	変更なし
容 量	L/個		□ ^{*3} (200 ^{*4})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.77 ^{*5}	変更なし 2.00 ^{*6}
最 高 使 用 温 度	℃		171	変更なし
主 要 寸 法	胴 外 径	mm	508.0 ^{*4}	
	胴 板 厚 さ	mm	□ ^{*7} (15.1 ^{*4})	
	平 板 厚 さ	mm	□ ^{*7} (45.0 ^{*4})	
	管台外径(流体出入口)	mm	80.0 ^{*4, *7}	
	管台厚さ(流体出入口)	mm	□(9.5 ^{*4}) ^{*7}	
	全 長	mm	1210 ^{*4}	
材 料	胴 板	—	SUS304TP	
	平 板	—	SUS304	
個 数	—		8	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(5)主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ」と記載。

*2 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）と兼用。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : SI 単位に換算したものである。

*6 : 重大事故等時における使用時の値。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-3「主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータの強度計算書」による。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、駆動方法、個数（自動減圧機能を有する場合は、その個数を付記すること。）、取付箇所及び吹出場所

		変更前						変更後	
名称		B21-F001 ^{*1} P	B21-F001 ^{*1} J	B21-F001 ^{*1} B, G, M, S	B21-F001 ^{*1} D, E, K, U	B21-F001 ^{*1, *2} C, H, N, T	B21-F001 ^{*1, *2} A, F, L, R		
種類	—	平衡型							
吹出し圧力 (逃がし弁機能)	MPa	7.51 ^{*3, *4}	7.58 ^{*3, *4}	7.64 ^{*3, *4}	7.71 ^{*3, *4}	7.78 ^{*3, *4}	7.85 ^{*3, *4}		
吹出し圧力 (安全弁機能)	MPa	7.92 ^{*3, *4}	7.92 ^{*3, *4}	7.99 ^{*3, *4}	8.06 ^{*3, *4}	8.12 ^{*3, *4}	8.19 ^{*3, *4}		
吹出量 (逃がし弁機能)	t/h/個	363 ^{*3, *5}	367 ^{*3, *5}	370 ^{*3, *5}	373 ^{*3, *5}	377 ^{*3, *5}	380 ^{*3, *5}		
吹出量 (安全弁機能)	t/h/個	395 ^{*3, *5}	395 ^{*3, *5}	399 ^{*3, *5}	402 ^{*3, *5}	406 ^{*3, *5}	409 ^{*3, *5}		
主要寸法	呼び径	— ^{*6}						150A ^{*7}	変更なし
	のど部の径	mm						□ ^{*5}	
	弁座口の径	mm						134 ^{*5}	
	リフト	mm						□以上	
材料 (弁箱)	—	SCPH2							
駆動方法	—	窒素及びバネ作動 ^{*8}							
個数	—	18(8 ^{*8, *9}) (予備 18 ^{*8, *10})							
取付箇所	系統名	—						主蒸気系 ^{*8}	
	設置床	—						原子炉格納容器 ^{*11} T. M. S. L. 12300 mm	
	溢水防護上の区画番号	—						—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						—	
吹出場所	—	サプレッションプール水面下 ^{*3}							

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)主蒸気逃がし安全弁」と記載。

*2：自動減圧機能を有する弁を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-4-1「主蒸気逃がし安全弁の吹出量計算書」による。

*4：SI単位に換算したものである。

*5：公称値を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「150」と記載。

*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*9：18個のうち自動減圧機能を有する弁の個数を示す。

*10：予備品（6号機設備、6,7号機共用）の個数を示す。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (主蒸気隔離弁にあつては, 閉止時間及び漏えい率を付記すること。)

			変 更 前	変更後	
名 称 ^{*1}			B21-F002A, B, C, D ^{*2}	変更なし	
種 類	—		止め弁		
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62 ^{*3}		
最 高 使 用 温 度	°C		302 ^{*3}		
主 要 寸 法	呼 び 径	— ^{*4}	700A ^{*5, *6}		
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上 ^{*3}		
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上 ^{*3}		
材 料	弁 箱	—	SCPH2		
	弁 ふ た	—	SFVC2B		
	弁 体	—	SFVC2B ^{*3}		
駆 動 方 法			—		空気作動 (窒素作動)
閉 止 時 間			s		3~4.5 ^{*3}
漏 え い 率			%/d/個		^{*3} 10 以下 (主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 最低設定圧力において, 原子炉圧力容器気相の体積に対し, 飽和蒸気で)
個 数			—		4
取 付 箇 所	系 統 名		—		主蒸気系 ^{*3}
	設 置 床		—		原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300 mm
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の配慮が必要 な 高 さ		—	—	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F002A, B, C, D」と記載。記載内容は, 設計図書による。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径A)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「700」と記載。

*6 : 公称値を示す。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

			変更前	変更後
名称 ^{*1}			B21-F003A, B, C, D ^{*2}	
種類	—		止め弁	
最高使用圧力	MPa		8.62 ^{*3}	
最高使用温度	℃		302 ^{*3}	
主要寸法	呼び径	— ^{*4}	700A ^{*5, *6}	
	弁箱厚さ	mm	□以上 ^{*3}	
	弁ふた厚さ	mm	□以上 ^{*3}	
材料	弁箱	—	SCPH2	
	弁ふた	—	SFVC2B	
	弁体	—	SFVC2B ^{*3}	
駆動方法	—		空気作動	
閉止時間	s		3～4.5 ^{*3}	
漏えい率	%/d/個	10以下（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）最低設定圧力において、原子炉压力容器気相の体積に対し、飽和蒸気で） ^{*3}		
個数	—		4	
取付箇所	系統名	—	主蒸気系 ^{*3}	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300 mm ^{*7}	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	

変更なし

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「F003A, B, C, D」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「（呼び径A）」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「700」と記載。

*6：公称値を示す。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称又は弁番号			タービンバイパス弁	—*
種	類	—	制御弁	
主要 寸法	呼び径 A	—	228.6mm (弁座口の径)	
材 料	弁箱	—	SCPH1 相当	
	弁ふた	—	SCPH1 相当	
駆動方法			油圧作動	
個数			3	
取付 箇所	設置床	—	タービン建屋内	

注記*：当該弁については、主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後												
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料							
主 蒸 気 系	*1 原子炉压力容器 ～ B21-F003A, C, D 及び B21-F001A, B, C, D, K, L, M, N, P, R, S, T, U	8.62*2	302	711.2*3	35.7*3	STS480*4	主 蒸 気 系	*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7	変更なし 306*7	変更なし							
				228.6*3	□*5 (34.3*3)	SFVC2B												
	*1 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	8.62*2	302	711.2*3	□*5 (35.7*3)	SFVC2B		*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7	変更なし 306*7	変更なし							
				165.2*3	□*5 (14.3*3)	SFVC2B												
	*1 原子炉隔離時冷却系分岐部 ～ B21-F003B 及び B21-F001E, F, G, H, J	8.62*2	302	711.2*3	35.7*3	STS480*4		主 蒸 気 系	*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7	変更なし 306*7	変更なし						
				228.6*3	□*5 (34.3*3)	SFVC2B												
	*1 B21-F003A, B, C, D ～ 主蒸気ヘッド	8.62*2	302	711.2*3	□*5 (35.7*3)	SGV480*8							*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7	変更なし 306*7	変更なし		
	主蒸気ヘッド	8.62*2	302	711.2*3	□*5 (35.7*3)	SFVC2B												
				769.8*3	□*5 (65.0*3)	SFVC2B												
				1371.6*3	□*5 (90.0*3)	SFVC2B												
				1320.8*3	□*5 (55.0*3)	SFVC2B												
				872.0*3	□*5 (70.0*3)	SFVC2B												
812.8*3	□*5 (40.4*3)	SFVC2B																
*9 主蒸気ヘッド ～ N31-F001A, B, C, D	8.62*2	302	711.2*3	□*5 (35.7*3)	SGV480*8	*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7										変更なし 306*7	変更なし

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
主 蒸 気 系	*10 B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T ～ 逃がし安全弁排気管貫通部	3.73*2	250	267.4*3	15.1*3	STS410*11	変更なし	3.73	250	変更なし		STS410*12
				267.4	15.1							
			/267.4	/15.1								
					267.4*3, *12, *13	15.1*3, *12, *13	STS410*12, *13					
	*10 逃がし安全弁排気管貫通部 ～ サプレッションチェンバ	3.73*2	250	267.4*3	15.1*3	SUS316TP	変更なし	3.73	250	変更なし		SUS316TP*12
				267.4*3	12.7*3	SUS316TP						
				318.5*3	14.3*3	SUS316TP						
				318.5*3	□*5 (17.4*3)	SCS16A						
		3.73*2	250	563.0*3, *5	□ (31.8*3)*5	SCS16A*5						
	609.6*3			□*5 (55.1*3)	SCS16A							
					—							
	(次頁へ続く)						主 蒸 気 系	*12 B21-F001B, D, E, G, J, K, M, P, S, U ～ サプレッションチェンバ	3.73	250	変更なし	
		609.6*3	□ (55.1*3)	SCS16A								
		318.5*3	□ (17.4*3)	SCS16A								
		267.4*3	15.1*3	STS410								
		267.4*3, *13	15.1*3, *13	STS410*13								
		267.4	15.1	STS410								
		/267.4	/15.1									
		/—	/—									
		267.4*3	15.1*3	SUS316TP								
		267.4*3	12.7*3	SUS316TP								
		318.5	17.4	SUS316TP								
		/267.4	/15.1									
		318.5*3	14.3*3	SUS316TP								
		318.5*3	□ (17.4*3)	SCS16A								
		563.0*3	□ (31.8*3)	SCS16A								
		609.6*3	□ (55.1*3)	SCS16A								
		609.6*3	□ (55.1*3)	SCS16A								
(次頁へ続く)						(次頁へ続く)						

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
(前頁からの続き)						(前頁からの続き)							
主 蒸 気 系	*14 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 窒素供給配管合流部	1.77	171	80.0*3	□*5(13.6*3)	SUS304	*15 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 窒素供給配管合流部	2.00*7	変更なし			SCS16A	
				60.5*3	□*5(3.9*3)	SUS304							
	—						2.00*7	171	60.5*3,*12,*13	3.9*3,*12,*13	SUS304TP*12,*13		
	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	変更なし 2.00*7	変更なし						
主 蒸 気 系	*14 B21-F029A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U ～ 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 窒素供給配管合流部	—				*15 B21-F029A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U ～ 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 窒素供給配管合流部	2.00*7	171	60.5*3,*12,*13	3.9*3,*12,*13	SUS304TP*12,*13		
		1.77	171	60.5*3	3.9*3				SUS304TP	変更なし 2.00*7	変更なし		
	—						*15 主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U	2.00*7	171	60.5	3.9	SUS304TP*12	
1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	変更なし 2.00*7	変更なし							
—						2.00*7				171	60.5*3,*12,*13		3.9*3,*12,*13
—						*15 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部	2.00*7	171	60.5*3,*12	□(6.7*3)*12	SUS304*12		
—									2.00*7	171	61.5*3,*12	□(0.4*3)*12	SUS304*12
—									2.00*7	171	60.5*3,*12,*13	3.9*3,*12,*13	SUS304TP*12,*13

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
主 蒸 気 系	*14 B21-F026A, C, F, H, L, N, R, T ～ 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部					*15 B21-F026A, C, F, H, L, N, R, T ～ 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部					
	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	2.00*7	171	60.5*3, *12, *13	3.9*3, *12, *13	SUS304TP*12, *13	
	—					変更なし	変更なし				
	*14 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T					*15 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T					
1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	2.00*7	171	60.5 /60.5	3.9 /3.9	SUS304TP*12		
—					変更なし						
*16 主蒸気ヘッド ～ 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン分岐部					*15 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T						
8.62*2	302	812.8*3	<input type="text"/> *5 (40.4*3)	SGV480*8	2.00*7	171	60.5*3, *12	<input type="text"/> (6.7*3)*12	SUS304*12		
*16 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン分岐部 ～ N37-F001					*15 主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T						
主 蒸 気 系	8.62*2	302	863.6*3	<input type="text"/> *5 (70.0*3)	SGV480*8	2.00*7	171	61.5*3, *12	<input type="text"/> (0.4*3)*12	SUS304*12	
			440.0*3	<input type="text"/> *5 (38.2*3)	SFVC2B			60.5*3, *12, *13	3.9*3, *12, *13	SUS304TP*12, *13	
			406.4*3	<input type="text"/> *5 (21.4*3)	SFVC2B			変更なし			
			863.6*3	<input type="text"/> *5 (70.0*3)	SGV480*8			変更なし			
	8.62*2	302	812.8*3	<input type="text"/> *5 (40.4*3)	SGV480*8	変更なし					
			601.6*3	<input type="text"/> *5 (50.0*3)	SFVC2B						
			558.8*3	<input type="text"/> *5 (28.6*3)	SFVC2B						
			812.8 /558.8	<input type="text"/> *5 (40.4*3) *5 (28.6*3)	SFVC2B						
558.8*3	<input type="text"/> *5 (28.6*3)	SGV480*8									
571.6*3	<input type="text"/> *5 (35.0*3)	SFVC2B									
609.6*3	<input type="text"/> *5 (54.0*3)	SGV480*8									
609.6 /558.8	<input type="text"/> *5 (31.0*3) *5 (28.6*3)	SFVC2B									
609.6*3	<input type="text"/> *5 (31.0*3)	SGV480*8									

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
主 蒸 気 系	*17 N37-F001 ～ タービンバイパス減圧管	6.01*2	302	457.2*3	□*5(19.0*3)	SB480*18	主 蒸 気 系	変更なし				
	*19 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン分岐部 ～ タービン補助蒸気系 B系分岐部	8.62*2	302	406.4*3	□*5(21.4*3)	SB480*18						
	タービン補助蒸気系 B系分岐部 ～ 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン (B)分岐部	8.62*2	302	406.4*3	□*5(21.4*3)	SB480*18						
				210.0*3	□*5(33.4*3)	SF490A*20						
				165.2*3	□*5(11.0*3)	SF490A*20						
	*19 原子炉給水ポンプ駆動用 蒸気タービン(B)分岐部 ～ N38-F001B	8.62*2	302	165.2*3	11.0*3	STPT480*21						
	*19 原子炉給水ポンプ駆動用 蒸気タービン(B)分岐部 ～ タービン補助蒸気系 A系分岐部	8.62*2	302	406.4*3	□*5(21.4*3)	SB480*18						
*19 タービン補助蒸気系 A系分岐部 ～ N38-F001A	8.62*2	302	165.2*3	11.0*3	STPT480*21							

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
主 蒸 気 系	タービン補助蒸気系 B系分岐部 ～ N39-F035B, D 及びN39-F036B, D	8.62 ^{*2}	302	355.6 ^{*3}	19.0 ^{*3}	主 蒸 気 系	変更なし				
				318.5 ^{*3}	17.4 ^{*3}						
				267.4 ^{*3}	15.1 ^{*3}						
	タービン補助蒸気系 A系分岐部 ～ N39-F035A, C 及びN39-F036A, C	8.62 ^{*2}	302	318.5 ^{*3}	17.4 ^{*3}						
267.4 ^{*3}	15.1 ^{*3}										

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から主蒸気ヘッダ、原子炉隔離時冷却系及び主蒸気逃がし安全弁まで」と記載。

*2：SI単位に換算したものである。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-1-1「管の基本板厚計算書」による。

*6：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系、高圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高圧代替注水系）と兼用。

*7：重大事故等時における使用時の値。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダから主蒸気止め弁まで」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気逃がし安全弁（自動減圧機能用）からサブプレッションチェンバへ」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

*12：本設備は既存の設備である。

*13：エルボを示す。

*14：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*15：計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）と兼用。

*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダからタービンバイパス弁まで」と記載。

*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービンバイパス弁からタービンバイパス減圧管まで」と記載。

*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービンバイパス弁入口配管から原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンまで」と記載。

*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。記載内容は、設計図書による。

*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「RFPタービン入口配管からタービン補助蒸気系（湿分分離加熱器へ）まで」と記載。

4.2 復水給水系

- (6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数 (自動減圧機能を有する場合は, その個数を付記すること。), 取付箇所及び吹出場所

			変更前*1	変更後
名称			N21-F015A, B, C	
種類	類	—	非平衡型	
吹出圧力	MPa	—	1.94	
吹出量	kg/h/個	—	□ *2	
主要寸法	呼び径	—	25A	
	のど部の径	mm	□ *2	
	弁座口の径	mm	□ *2	
	リフト	mm	□ 以上	
材料	弁箱	—	SCPH2	
駆動方法			—	
個数			3	
取付箇所	系統名	—	復水給水系	
	設置床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 4900mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	
吹出場所			LCW サンプ(B)	

変更なし

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (主蒸気隔離弁にあつては, 閉止時間及び漏えい率を付記すること。)

			変 更 前		変 更 後
名 称 ^{*1}		—	B21-F051A, B ^{*2}		変更なし
種 類		—	逆止め弁		
最 高 使 用 圧 力		MPa	8.62 ^{*3}		
最 高 使 用 温 度		℃	302 ^{*3}		
主 要 寸 法	呼 び 径	— ^{*4}	550A ^{*5}		
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/>	以上 ^{*3}	
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/>	以上 ^{*3}	
材 料	弁 箱	—	SCPL1		
	弁 ふ た	—	SCPL1		
	弁 体	—	SCPL1 ^{*3}		
駆 動 方 法		—	空気作動		
個 数		—	2		
取 付 箇 所	系 統 名	—	B21-F051A ^{*3} 復水給水系 A 系	B21-F051B ^{*3} 復水給水系 B 系	
	設 置 床	—	原子炉建屋 ^{*6} T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 ^{*6} T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F051A, B」と記載。記載内容は, 設計図書による。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径A)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「550」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は, 設計図書による。

			変更前		変更後
名称 ^{*1}		—	B21-F052A, B ^{*2}		変更なし
種類		—	逆止め弁		
最高使用圧力		MPa	8.62 ^{*3}		
最高使用温度		℃	302 ^{*3}		
主要寸法	呼び径	— ^{*4}	550 A ^{*5}		
	弁箱厚さ	mm	□以上 ^{*3}		
	弁ふた厚さ	mm	□以上 ^{*3}		
材料	弁箱	—	SCPL1		
	弁ふた	—	GLF2 相当 (ASME SA350Gr. LF2)		
	弁体	—	SCPH61 ^{*3}		
駆動方法		—	—		
個数		—	2		
取付箇所	系統名	—	B21-F052A ^{*3} 復水給水系 A 系	B21-F052B ^{*3} 復水給水系 B 系	
	設置床	—	原子炉格納容器 ^{*6} T. M. S. L. 12300mm	原子炉格納容器 ^{*6} T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F052A, B」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径A)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「550」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
復 水 給 水 系	*1 N26-F004A, B, C ～ 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ) 合流部	1.94 ^{*2}	84	406.4 ^{*3}	12.7 ^{*3}	STPT370 ^{*4}	復 水 給 水 系	変更なし				
				609.6 ^{*3}	*5(17.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				609.6 ^{*3}	*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				660.4 ^{*3}	*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				660.4 ^{*3}	*5(17.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
	*1 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ) 合流部 ～ N27-F001A, B, C, D, E, F	1.94 ^{*2}	84	660.4 ^{*3}	*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				660.4 ^{*3}	*5(17.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				318.5 ^{*3}	10.3 ^{*3}	STPT370 ^{*4}						
	*7 N22-F022 ～ 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ) 合流部	1.94 ^{*2}	84	355.6 ^{*3}	11.1 ^{*3}	STPT370 ^{*4}						
	*8 N27-F002A, B, C, D, E, F ～ 制御棒駆動系分岐部	1.94 ^{*2}	84	318.5 ^{*3}	10.3 ^{*3}	STPT370 ^{*4}						
660.4 ^{*3}				*5(17.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
660.4 ^{*3}				*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
*8 制御棒駆動系分岐部 ～ 高圧復水ポンプ	1.94 ^{*2}	84	660.4 ^{*3}	*5(17.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
			660.4 ^{*3}	*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
			660.4 ^{*3}	*5(11.85 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
			609.6 ^{*3}	*5(12.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
*9 制御棒駆動系分岐部 ～ 復水補給水系分岐部	1.94	84	114.3 ^{*3}	6.0 ^{*3}	STPT370							
						*9 復水補給水系分岐部 ～ N21-F150	1.94	84	114.3 ^{*3}	6.0 ^{*3}	STPT370	
*9 復水補給水系分岐部 ～ N21-F041	1.94	84	114.3 ^{*3}	6.0 ^{*3}	STPT370							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ		名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
				(mm)	(mm)							
復 水 給 水 系	高圧復水ポンプ ～ 第6給水加熱器	5.98 ^{*2}	84	508.0 ^{*3}	*5(20.6 ^{*3})	復 水 給 水 系	変更なし	5.98 ^{*2}	84	406.4 ^{*3}	SB450 ^{*6}	
				660.4 ^{*3}	*5(24.0 ^{*3})							SB450 ^{*6}
				711.2 ^{*3}	*5(49.4 ^{*3})							SB450 ^{*6}
				508.0 ^{*3}	*5(20.6 ^{*3})							SF440A ^{*10}
				528.0 ^{*3}	*5(30.6 ^{*3})							SF440A ^{*10}
				406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})							SB450 ^{*6}
	第6給水加熱器 ～ 第5給水加熱器	5.98 ^{*2}	149	406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
	第5給水加熱器 ～ 第4給水加熱器	5.98 ^{*2}	149	406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
	第4給水加熱器 ～ 第3給水加熱器	5.98 ^{*2}	149	406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
	*11 第3給水加熱器 ～ 給水加熱器ドレンベント系 (高圧ドレンポンプ)合流部	5.98 ^{*2}	207	406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				711.2 ^{*3}	*5(25.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				762.0 ^{*3}	*5(50.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				863.6 ^{*3}	*5(29.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				914.4 ^{*3}	*5(54.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
	*11 給水加熱器ドレンベント系 (高圧ドレンポンプ)合流部 ～ タービン駆動原子炉給水ポンプ(A) 分岐部	5.98 ^{*2}	207	863.6 ^{*3}	*5(29.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				625.0 ^{*3}	*5(32.3 ^{*3})	SF440A ^{*10}						
				609.6 ^{*3}	*5(24.6 ^{*3})	SF440A ^{*10}						
				914.4 ^{*3}	*5(54.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}						
				580.0 ^{*3}	*5(32.8 ^{*3})	SF440A ^{*10}						
	*11 タービン駆動原子炉給水ポンプ(A) 分岐部 ～ タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)	5.98 ^{*2}	207	558.8 ^{*3}	*5(22.2 ^{*3})	SF440A ^{*10}						
609.6 ^{*3}				*5(24.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
			609.6 ^{*3}	23.25 ^{*3}	SUS316LTP							

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
復 水 給 水 系	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部 ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ分岐部	5.98 ^{*2}	207	863.6 ^{*3}	*5(29.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}	復 水 給 水 系	変更なし					
				914.4 ^{*3}	*5(54.4 ^{*3})								SB450 ^{*6}
				625.0 ^{*3}	*5(32.3 ^{*3})								SF440A ^{*10}
				609.6 ^{*3}	*5(24.6 ^{*3})								SF440A ^{*10}
	電動機駆動原子炉給水ポンプ分岐部 ～ タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)	5.98 ^{*2}	207	609.6 ^{*3}	*5(24.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				609.6 ^{*3}	23.25 ^{*3}	SUS316LTP							
	N22-F007A, B, C ～ 給水加熱器ドレンベント系 (高圧ドレンポンプ) 合流部	5.98 ^{*2}	207	406.4 ^{*3}	*5(16.7 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				558.8 ^{*3}	*5(22.2 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				609.6 ^{*3}	*5(47.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
	電動機駆動原子炉給水ポンプ分岐部 ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部	5.98 ^{*2}	207	863.6 ^{*3}	*5(29.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				914.4 ^{*3}	*5(54.4 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				609.6 ^{*3}	*5(24.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				660.4 ^{*3}	*14(50.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部 ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)	5.98 ^{*2}	207	609.6 ^{*3}	*5(24.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				660.4 ^{*3}	*14(50.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				457.2 ^{*3}	*5(19.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				457.2 ^{*3}	*5(18.15 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部 ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)	5.98 ^{*2}	207	558.8 ^{*3}	*5(22.2 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				609.6 ^{*3}	*5(47.6 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
				457.2 ^{*3}	*5(19.0 ^{*3})	SB450 ^{*6}							
457.2 ^{*3}				*5(18.15 ^{*3})	SB450 ^{*6}								
タービン駆動原子炉給水ポンプ(A) ～ 第2給水加熱器分岐部	16.57 ^{*2}	207	660.4 ^{*3}	*5(52.7 ^{*3})	SB480 ^{*18}								
	10.00 ^{*2}	207	660.4 ^{*3}	*5(34.2 ^{*3})	SB480 ^{*18}								
			863.6 ^{*3}	*14(43.4 ^{*3})	SB480 ^{*18}								
			914.4 ^{*3}	*5(68.8 ^{*3})	SB480 ^{*18}								
			695.0 ^{*3}	*14(73.7 ^{*3})	SF490A ^{*19}								
609.6 ^{*3}	*14(31.0 ^{*3})	SF490A ^{*19}											

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復 水 給 水 系	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B) ～ 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部	*17 16.57*2	207	660.4*3	*5 (52.7*3)	SB480*18	復 水 給 水 系	変更なし			
		10.00*2		660.4*3	*5 (34.2*3)						
	給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部 ～ 第2給水加熱器分岐部	*17 10.00*2	207	660.4*3	*5 (34.2*3)	SF490A*19					
				742.0*3	*5 (75.0*3)	SF490A*19					
	給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部 ～ 第2給水加熱器分岐部	*17 10.00*2	207	914.4*3	*5 (68.8*3)	SB480*18					
				863.6*3	*14 (43.4*3)	SB480*18					
	第2給水加熱器分岐部 ～ 第2給水加熱器	*17 10.00*2	207	609.6*3	*5 (31.0*3)	SB480*18					
				給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部 ～ 給水ポンプ出口配管 (電動機駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部	*20 10.00*2	207					
	914.4*3	*5 (68.8*3)	SB480*18								
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(B) ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部	*20 16.57*2	207	457.2*3	*14 (37.7*3)	SB480*18					
				457.2*3	*14 (24.8*3)	SB480*18					
		10.00*2	207	609.6*3	*14 (31.0*3)	SB480*18					
				660.4*3	*14 (56.4*3)	SB480*18					
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部 ～ 給水ポンプ出口配管 (電動機駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部	*21 10.00*2	207	660.4*3	*14 (56.4*3)	SB480*18					
				609.6*3	*14 (31.0*3)	SB480*18					
863.6*3				*14 (43.4*3)	SB480*18						
914.4*3				*14 (68.8*3)	SB480*18						
695.0*3				*14 (73.7*3)	SF490A*19						
609.6*3				*14 (31.0*3)	SF490A*19						
給水ポンプ出口配管 (電動機駆動原子炉給水ポンプ側) 分岐部 ～ 第2給水加熱器	*17 10.00*2	207	609.6*3	*14 (31.0*3)	SB480*18						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
復水給水系	*22 電動機駆動原子炉給水ポンプ(A) ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部	207	457.2*3	*14 (37.7*3)	SB480*18	復水給水系	変更なし					
			457.2*3		*14 (24.8*3)							SB480*18
			457.2*3		*14 (24.8*3)							SF490A*19
			480.0*3		*14 (36.2*3)							SF490A*19
	第2給水加熱器 ～ 第1給水加熱器	207	609.6*3	*14 (31.0*3)	SB480*18							
			*23 第1給水加熱器 ～ B21-F070A, B	609.6*3	*14 (31.0*3)							SF490A*19
	695.0*3	*14 (73.7*3)		SF490A*19								
	863.6*3	*14 (43.4*3)		SB480*18								
	863.6*3	*5 (55.5*3)		SB480*18								
	609.6*3	*5 (31.0*3)		STPT480*24								
609.6*3	*5 (31.0*3)	SUS316TP										
660.4*3	*14 (56.4*3)	SB480*18										
609.6*3	*5 (31.0*3)	SB480*18										
8.62*2	302	558.8*3	28.6*3	STS480*25								
*23 B21-F070A ～ 代替注水配管復水給水系(A)合流部	302	558.8*3	*5 (34.9*3)	SFVAF11A	*26 代替注水配管復水給水系 (A)合流部 ～ 原子炉压力容器	変更なし						
		558.8*3	34.9*3	STPA23								
*23 代替注水配管復水給水系(A)合流部 ～ 原子炉压力容器	302	321.0*3	*5 (45.0*3)	SFVAF11A								
		267.4*3	*5 (18.2*3)	SFVAF11A								
		558.8*3	34.9*3	STS480*25								
		558.8*3	*5 (34.9*3)	SFVC2B								
		318.5*3	*5 (21.4*3)	SFVC2B								
		318.5*3	21.4*3	STS410*28								
		318.5*3	21.4*3	STS410*28								
8.62*2	302	558.8*3	28.6*3	STS480*25							変更なし	変更なし
*23 B21-F070B ～ 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部	302	558.8*3	28.6*3	STS480*25	変更なし							
		558.8*3	28.6*3	STS480*25								

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復 水 給 水 系	*23 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部 ～ 原子炉压力容器	8.62*2	302	558.8*3	□ *5(34.9*3)	SFVAF11A	*29 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部 ～ 原子炉压力容器	9.22*27	306*27	変更なし	変更なし
				558.8*3	34.9*3	STPA23					
				196.6*3	□ *5(30.0*3)	SFVAF11A					
				165.2*3	□ *5(14.3*3)	SFVAF11A					
				558.8*3	34.9*3	STS480*25					
				558.8*3	□ *5(34.9*3)	SFVC2B					
				318.5*3	□ *5(21.4*3)	SFVC2B					
				318.5*3	21.4*3	STS410*28					
復 水 給 水 系	*30 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 ～ 代替注水配管復水給水系(A)合流部	8.62*2	302	267.4	21.4	STS410*28	*26 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 ～ 代替注水配管復水給水系 (A)合流部	9.22*27	306*27	変更なし	変更なし
				/267.4 /165.2	/21.4 /14.3						
復 水 給 水 系	*30 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ～ 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部	8.62*2	302	165.2*3	□ *5(14.3*3)	SFVAF11A	*29 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ～ 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部	9.22*27	306*27	変更なし	変更なし
				176.6*3	□ *5(20.0*3)	SFVAF11A					
				165.2*3	14.3*3	STPT410*31					
復 水 給 水 系	*30 G31-F015 ～ B21-F056A, B	10.20*2	302	216.3*3	18.2*3	STPT410*31	*29 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ～ 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部	9.22*27	306*27	変更なし	変更なし
				165.2*3	14.3*3	STPT410*31					
		8.62*2	302	165.2*3	14.3*3	STPT410*31					
復 水 給 水 系	*30 B21-F056A ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	8.62*2	302	165.2*3	14.3*3	STPT410*31	*29 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ～ 原子炉隔離時冷却系 配管復水給水系(B)合流部	9.22*27	306*27	変更なし	変更なし

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復水給水系 B21-F056B ～ 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部	8.62*2	302	165.2*3	14.3*3	STPT410*31	復水給水系	変更なし				

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系(復水ろ過装置より)から復水浄化系(復水脱塩装置へ)まで」と記載。

*2：SI 単位に換算したものである。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-6-7-1「管の基本板厚計算書」による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB46」と記載。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水加熱器ドレンベント系(低圧ドレンポンプより)から復水ろ過装置出口配管まで」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系(復水脱塩装置より)から高圧復水ポンプまで」と記載。

*9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF45A」と記載。記載内容は、設計図書による。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第3給水加熱器からタービン駆動原子炉給水ポンプまで」と記載。

*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水加熱器ドレンベント系(高圧ドレンポンプより)から給水ポンプ入口配管まで」と記載。

*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第3給水加熱器からタービン駆動原子炉給水ポンプまで」及び「給水ポンプ入口配管から電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)まで」と記載。

*14：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成5年8月19日付け5資庁第8685号にて認可された工事計画のIV-3-1-6-7-1「管の基本板厚計算書」による。

*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水ポンプ入口配管から電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)まで」と記載。

*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「MD-RFP(B)入口配管から電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)まで」と記載。

*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン駆動原子炉給水ポンプから第2給水加熱器まで」と記載。

*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。記載内容は、設計図書による。

*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)から給水ポンプ出口配管まで」と記載。

*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン駆動原子炉給水ポンプから第2給水加熱器まで」及び「電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)から給水ポンプ出口配管まで」と記載。

*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)からMD-RFP(B)出口配管まで」と記載。

*23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1給水加熱器から原子炉圧力容器まで」と記載。

*24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*26：残留熱除去設備(残留熱除去系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(高圧代替注水系, 低圧注水系, 低圧代替注水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系, 高圧代替注水系, 低圧代替注水系)と兼用。

*27：重大事故等時における使用時の値を示す。

*28：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

*29：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。

*30：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系，残留熱除去系及び原子炉隔離時冷却系から原子炉压力容器入口配管まで」と記載。

*31：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は，設計図書による。

4.3 給水加熱器ドレンベント系

(3) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 低圧ドレンタンク

			変更前	変更後
名 称			低圧ドレンタンク*1	
種 類	—	たて置円筒形		
容 量	m ³ *2	41*3(41*4)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.35*5		
最 高 使 用 温 度	℃	84		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3600*4	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/>	*6(32.0*4)
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/>	*6(32.0*4)
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	3600*4, *6 (鏡板の中央部における内面の半径)	
			360*4, *6 (すみの丸みの内半径)	
	管台外径(第5ヒータドレン入口)	mm	419.0*4, *6	
	管台厚さ(第5ヒータドレン入口)	mm	<input type="text"/>	(19.0*4) *6
	管台外径(第6ヒータドレン入口)	mm	371.4*4, *6	
	管台厚さ(第6ヒータドレン入口)	mm	<input type="text"/>	(19.0*4) *6
	管台外径(ドレン出口)	mm	876.2*4, *6	
	管台厚さ(ドレン出口)	mm	<input type="text"/>	(19.0*4) *6
	マンホール外径	mm	508.0*4, *6	
	マンホール厚さ	mm	<input type="text"/>	(16.0*4) *6
	マンホールふた厚さ	mm	<input type="text"/>	(48.0*4) *6
高 さ*7	mm	5350*4		
材 料	胴 板	—	SCMV3	
	鏡 板	—	SCMV3	
	マンホールふた	—	SCMV3*6	
個 数	—	1		

変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)低圧ドレンタンク」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/個」と記載。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

- *5 : SI 単位に換算したものである。
- *6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 4 年 3 月 27 日
付け 3 資庁第 13034 号にて認可された工事計画の IV-3-1-7-2 「低圧ドレンタンクの強
度計算書」による。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
給水加熱器ドレンベント系	N22-F036A, B, C, D ～ 第1給水加熱器	*1	3.57*2	246	165.2*3	7.1*3	STPA23	給水加熱器ドレンベント系	変更なし			
			2.67*2	230	216.3*3	12.7*3	STPA23					
	N22-F040A, B, C, D ～ 第1給水加熱器	*4	8.62*2	302	216.3*3	15.1*3	STPA23					
			2.67*2	230	267.4*3	21.4*3	STPA23					
	第1給水加熱器 ～ 高圧ドレンタンク		2.67*2	230	406.4*3	□*5(12.7*3)	SB450*6					
			1.67*2	207	457.2*3	□*5(14.3*3)	SCMV3					
	第2給水加熱器 ～ 高圧ドレンタンク		1.67*2	207	508.0*3	□*5(9.5*3)	SCMV3					
	N22-F032A, B, C, D ～ 高圧ドレンタンク	*7	1.67*2	207	267.4*3	9.3*3	STPA23					
					318.5*3	17.4*3	STPA23					
	高圧ドレンタンク ～ 高圧ドレンポンプ		1.67*2	207	457.2*3	□*5(12.7*3)	SCMV3					
	高圧ドレンポンプ ～ N22-F007A, B, C	*8	7.16*2	207	406.4*3	□*5(21.4*3)	SB480*9					
	第3給水加熱器 ～ 第4給水加熱器		0.48*2	158	165.2*3	7.1*3	STPT370*10					
	第4給水加熱器 ～ 第5給水加熱器		0.35*2	149	216.3*3	12.7*3	STPA23					
					216.3*3	8.2*3	STPA23					
第5給水加熱器 ～ 低圧ドレンタンク		0.35*2	149	355.6*3	19.0*3	STPA23						
				267.4*3	9.3*3	STPA23						
第6給水加熱器 ～ 低圧ドレンタンク		0.35*2	149	406.4*3	□*5(12.7*3)	SCMV3						
				355.6*3	11.1*3	STPA23						

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
給水加熱器ドレンベント系	低圧ドレンタンク ～ 低圧ドレンポンプ	0.35*2	84	508.0*3	9.5*3	給水加熱器ドレンベント系	変更なし					
				355.6*3	11.1*3							SCMV3
	*11 低圧ドレンポンプ ～ N22-F022	2.94*2	84	267.4*3	9.3*3							STPA23
				355.6*3	11.1*3							STPT370*10

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンクより第1給水加熱器まで」と記載。

*2：SI単位に換算したものである。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンクより第1給水加熱器まで」と記載。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-7-3「管の強度計算書」による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB46」と記載。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器湿分分離器ドレンタンクより高圧ドレンタンクまで」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧ドレンポンプから復水給水系まで」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。記載内容は、設計図書による。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧ドレンポンプから復水給水系まで」と記載。

4.4 復水浄化系

(4) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 復水脱塩装置陽イオン樹脂再生塔

			変更前	変更後
名称			復水脱塩装置陽イオン樹脂再生塔*1	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m ³ *2		18.24*3(20*4)	
最高使用圧力	MPa		0.78*5	
最高使用温度	℃		66	
主要寸法	胴内径	mm	2000*4	
	胴板厚さ	mm	□*6(18.0*4)	
	鏡板厚さ(上部)*7	mm	□*6(18.0*4, *8)	
	鏡板の形状に係る寸法(上部)	mm	2000*4, *6 (鏡板の内面における長径)	
			500*4, *6 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	鏡板厚さ(下部)*7	mm	□*6(19.0*4, *9)	
	鏡板の形状に係る寸法(下部)	mm	2000*4, *6 (鏡板の内面における長径)	
			500*4, *6 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	管台外径(飽和樹脂入口)	mm	114.3*4, *6	
	管台厚さ(飽和樹脂入口)	mm	□(8.6*4) ^{*6}	
	管台外径(樹脂出口)	mm	114.3*4, *6	
	管台厚さ(樹脂出口)	mm	□(8.6*4) ^{*6}	
	マンホール外径	mm	480.0*4, *6	
	マンホール厚さ	mm	□(15.0*4) ^{*6}	
マンホール平板厚さ	mm	□(40.0*4) ^{*6}		
高さ*10	mm	6713*4, *11		
材料	胴板	—	SB42	
	鏡板(上部)*12	—	SB42	
	鏡板(下部)*12	—	SB42	
	マンホール平板	—	SF440A*6	

変更なし

		変 更 前	変 更 後
個	数	1	変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「b. 復水脱塩装置陽イオン樹脂再生塔」と記載。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/個」と記載。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 公称値を示す。

*5 : SI 単位に換算したものである。

*6 : 既工事計画書に記載が無いため記載の適正化を行う。記載内容は平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-8-3「復水脱塩装置陽イオン樹脂再生塔の強度計算書」による。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚さ」と記載。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(上部鏡板) 18.0」と記載。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(下部鏡板) 19.0」と記載。

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「7231」と記載。記載内容は、設計図書による。

*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板」と記載。

b. 復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔

			変更前	変更後
名称			復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔*1	
種類	類	—	たて置円筒形	
容量	量	m ³ *2	12.0 以上*3(12.7*4)	
最高使用圧力	力	MPa	0.78*5	
最高使用温度	度	℃	66	
主 要 寸 法	胴内径	mm	1700*4	
	胴板厚さ	mm	□*6(15.0*4)	
	鏡板厚さ(上部)*7	mm	□*6(16.0*4,*8)	
	鏡板の形状に係る寸法(上部)	mm	1700*4,*6 (鏡板の内面における長径)	
			425*4,*6 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	鏡板厚さ(下部)*7	mm	□*6(19.0*4,*9)	
	鏡板の形状に係る寸法(下部)	mm	1700*4,*6 (鏡板の内面における長径)	
			425*4,*6 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	管台外径(飽和樹脂入口)	mm	89.1*4,*6	
	管台厚さ(飽和樹脂入口)	mm	□(7.6*4)*6	
	管台外径(樹脂出口)	mm	89.1*4,*6	
	管台厚さ(樹脂出口)	mm	□(7.6*4)*6	
	マンホール外径	mm	480*4,*6	
	マンホール厚さ	mm	□(15.0*4)*6	
マンホール平板厚さ	mm	□(40.0*4)*6		
高さ*10	mm	5915*4,*11		
材 料	胴板	—	SB42	
	鏡板(上部)*12	—	SB42	
	鏡板(下部)*12	—	SB42	
	マンホール平板	—	SF440A*6	
個数	数	—	1	

変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「c. 復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔」と記載。

- *2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/個」と記載。
- *3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4 : 公称値を示す。
- *5 : SI 単位に換算したものである。
- *6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は平成 4 年 3 月 27 日 付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の IV-3-1-8-4 「復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔の強度計算書」による。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚さ」と記載。
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(上部鏡板) 16.0」と記載。
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(下部鏡板) 19.0」と記載。
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「6545」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板」と記載。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
復水浄化系	*1 N26-F001A, B, C ～ 復水ろ過装置復水ろ過器	1.94*2	66	406.4*3	*4(12.7*3)	STPT370*5	復水浄化系	変更なし				
				406.4*3	*4(12.7*3)	SUS304TP						
				457.2*3	*4(14.3*3)	SUS304TP						
				457.2*3	*4(14.3*3)	SUS304TP						
	*6 復水ろ過装置復水ろ過器 ～ N26-F004A, B, C	1.94*2	66	406.4*3	*4(12.7*3)	SUS304TP						
				406.4*3	*4(12.7*3)	STPT370*5						
	*7 N27-F001A, B, C, D, E, F ～ 復水脱塩装置復水脱塩塔	1.94*2	84	318.5*3	*4(10.3*3)	STPT370*5						
					*8 復水脱塩装置復水脱塩塔 ～ N27-F002A, B, C, D, E, F	1.94*2						

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水給水系から復水ろ過装置復水ろ過器まで」と記載。

*2 : SI 単位に換算したものである。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-8-5「管の強度計算書」による。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水ろ過装置復水ろ過器から復水給水系まで」と記載。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水給水系から復水脱塩装置復水脱塩塔まで」と記載。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置復水脱塩塔から復水給水系まで」と記載。

4.5 抽気系

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称，種類，吹出圧力，吹出量，主要寸法，材料，駆動方法，個数（自動減圧機能を有する場合は，その個数を付記すること。），取付箇所及び吹出場所

		変更前*1		変更後	
名称		N22-F047A, B, C		変更なし	
種類	—	平衡型			
吹出圧力	MPa	0.48			
吹出量	kg/h/個	□*2			
主要寸法	呼び径	—	150A		
	のど部の径	mm	□*2		
	弁座口の径	mm	□*2		
	リフト	mm	□以上		
材料	弁箱	—	SCPH2		
駆動方法	—	—			
個数	—	3			
取付箇所	系統名	—	給水加熱器ドレンベント系		
	設置床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		
吹出場所	—	復水器			

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*2：公称値を示す。

		変 更 前*1	変 更 後
名 称		N22-F048A, B, C	
種 類	—	平衡型	
吹 出 圧 力	MPa	0.35	
吹 出 量	kg/h/個	□*2	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	150A
	の ど 部 の 径	mm	□*2
	弁 座 口 の 径	mm	□*2
	リ フ ト	mm	□以上
材 料	弁 箱	—	SCPH2
駆 動 方 法		—	—
個 数		—	3
取 付 箇 所	系 統 名	—	給水加熱器ドレンベント系
	設 置 床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
吹 出 場 所		—	復水器

変更なし

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
抽気系	N36-F002A, B ～ 第1給水加熱器	2.67 ^{*2}	230	406.4 ^{*3}	[] ^{*4} (12.7 ^{*3})	抽気系	変更なし						
	N36-F003A, B ～ 第2給水加熱器	1.67 ^{*2}	207	558.8 ^{*3}								[] ^{*4} (9.5 ^{*3})	
	N36-F004A, B, C ～ 第3給水加熱器	0.48 ^{*2}	200	508.0 ^{*3}									
	N36-F005A, B, C ～ 第4給水加熱器	0.35 ^{*2}	149	660.4 ^{*3}								[] ^{*4} (9.5 ^{*3})	
	低圧タービン ～ 第5給水加熱器	0.35 ^{*2}	149	508.0 ^{*3}									
	低圧タービン ～ 第6給水加熱器	0.35 ^{*2}	149	660.4 ^{*3}								[] ^{*4} (9.5 ^{*3})	SCMV3
				609.6 ^{*3}								[] ^{*4} (9.5 ^{*3})	SCMV3
	N36-F006A, B ～ N38-F002A, B	1.67 ^{*2}	302	318.5 ^{*3}	10.3 ^{*3}							STPA23	
	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン ～ N36-F012A, B	0.03 ^{*2}	108	角型 1426W ×2586H	[] ^{*4} (19.1 ^{*3})							SCMV3	
1828.8 ^{*3}				[] ^{*4} (19.1 ^{*3})		SCMV3							

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンより第1給水加熱器まで」と記載。

*2 : SI単位に換算したものである。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-9-1「管の強度計算書」による。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管より第2給水加熱器まで」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービンより第3給水加熱器まで」と記載。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービンより第4給水加熱器まで」と記載。

- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管より原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンまで」と記載。
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンから復水器(A)へ」と記載。